

「積小為大」 やればできる

平戸市立中部中学校
令和7年6月16日【学校だより】
文責 木寺 剛

平戸市「少年の主張」大会 ロータリークラブ賞受賞

6月8日（日）に平戸文化センターにおいて「平戸市少年の主張大会」が開催され、3年谷浦志苑さんが出場しロータリークラブ賞を受賞しました。●●さんは、大会への参加が決まってから、毎日学校と自宅で何度も練習を繰り返し、当日は、その練習の成果を十分に発揮し、緊張の中にも落ち着きのある発表をすることができました。よく頑張りました。



中総体陸上競技（松浦市と合同開催）次につながる頑張り

6月15日（日）に市中総体陸上競技が開催されました。球技・武道大会が終了後、陸上大会への出場選手を募り、限られた時間で練習を行い、大会に出場しました。日頃専門的に練習をしている生徒がほとんどいない中、参加してくれた皆さんの勇気をたたえたいと思います。当日は、小雨の中での大会でしたが練習の成果を発揮することができました。



「長崎っ子の心を見つめる教育週間」命の大切さについて考えよう

6月16日（月）から20日（金）までの期間、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」とし命の大切さについての学びを深めていきます。校長講話では、「命」という詩を用いて命の大切さについての講話を行いました。

「命」

命はとても大切だ 人間が生きるための電池みたいだ でも電池はいつか切れる 命もいつかはなくなる 電池はすぐに取りかえられるけど 命は取りかえられない 何年も何年も月日がたって やっと神様から与えられるものだ 命がないと人間は生きられない でも「命なんかいらない」と言って 命をむだにする人もいる まだ たくさんの命が使えるのに そんな人を見ると悲しくなる 命は休むことなく働いているのに だから私は命がつかれたというまで せいっぱい生きよう 共に考える機会になればと思います